

平成三十年度前期選抜学力検査

国語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問題用紙

- 意**
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
 - 三、問題は、**1**から**3**までで、**六**ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。

- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(七)の各問いに答えなさい。(十八点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

① 涼しい風が吹く。 ② しばらく休憩を挟む。

③ 克明に記録する。 ④ チャイムが時をつげる。

⑤ 健闘をいのる。 ⑥ 自然のおんけいを受ける。

(二) 次の①、②の各組の傍線部分の語のうち、用法・はたらきが他の三つと異なるものはどれか、ア～エからそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① ア、今夜は星が見えない。
イ、この問題は難しくな^い。
ウ、彼の電話番号は知らない。
エ、決して危険なことをしない。

② ア、この道具は便利そう^だ。
イ、明日は今日よりも寒そう^だ。
ウ、次回の会議には全員が集まりそう^だ。
エ、以前にも同じことがあったそう^だ。

(三) 敬語を、丁寧語、尊敬語、謙譲語の三種類に分類したとき、次の①、②の文の傍線部分に用いられている敬語は、三種類の敬語のうち、どれに当たるか、あとのア～ウから最も適当なものをそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 今から練習を始め^{ます}。 ② 先生からお電話をいた^だく。

〔ア、丁寧語 イ、尊敬語 ウ、謙譲語〕

(四) 次の①、②の文の傍線部分が慣用句となるように、□に当てはまる言葉として、それぞれあとのア～エから最も適当なものを一つずつ選び、その記号を書きなさい。

① 彼とはなぜか□が合う。

〔ア、羊 イ、牛 ウ、豚 エ、馬〕

② 窓の外に広がる景色は、□をのむほど美しかった。

〔ア、心 イ、水 ウ、息 エ、涙〕

(五) 次の古文の傍線部分を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

かやうのことに、権中納言のなきこそ、なほさうざうしけれ。

(「大鏡」による。)

(六) 次の漢文の書き下し文として正しいものはどれか、あとのア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

宋^{ソウ} 人^{ひとニ} 有^リ 耕^ス 田^{でんヲ} 者^一。

(「韓非子」による。)

ア、宋人に田を耕す者有り。 イ、宋人に者有り田を耕す。
ウ、田を耕す者宋人に有り。 エ、田を耕す宋人に者有り。

(七) 次の俳句と【鑑賞文】を読んで、あとの各問いに答えなさい。

(俳句)

【鑑賞文】

(鑑賞文)

① 俳句の中の傍線部分「あからあから」とあるが、【鑑賞文】の筆者は、「あからあから」という表現や語感によって、どのようなものが伝わってくると述べているか、【鑑賞文】の中から三つ、それぞれ七字以上十字以内で抜き出して書きなさい。

② 【鑑賞文】の中の□に当てはまる季節として、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、初春 イ、初夏 ウ、初秋 エ、初冬

(次のページへ) ←

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(二十点)

(一) 二重傍線部分①～④の中には、品詞が他と異なるものが一つある。その記号を書きなさい。

(二) 傍線部分(1)「お互いが儀礼的に距離をとり、特別な興味や関心がないことを示し、相手に対して距離を保っていることを示す」とあるが、具体的にどのようなことか、本文中の言葉を使って、四十五字以上五十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(三) 傍線部分(2)「全く異質なりアリティへ瞬時に跳躍」とあるが、全く異質なりアリティへ瞬時に跳躍することによって、どのような状態になるか。「……状態になる。」に続くように、本文中から十五字で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(四) 傍線部分(3)「ただし」のことばのはたらきはどれか、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- | | | |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|
| ア、前に述べたことが、後で述べることの原因・理由となる。(順接) | } | イ、前に述べたことと比べて、どちらかを選んだりする。(対比・選択) |
| ウ、前に述べたことをまとめたり、補ったりする。(説明・補足) | | エ、前に述べたことと、話題を変える。(転換) |

(五) 傍線部分(4)「詳細」と熟語の構成が同じものはどれか、次のア～オから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ア、規則 | イ、慶弔 | ウ、雷鳴 | エ、匿名 | オ、俊足 |
|------|------|------|------|------|

(六) 傍線部分(5)「私たちが生きていることがわかります」とあるが、この部分を文節に分けるとどうなるか、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、私たちが／生きている／ことが／わかります
- イ、私たちが／生きている／ことが／わかり／ます
- ウ、私たちが／生きて／いる／ことが／わかります
- エ、私たちが／生きて／いる／ことが／わかり／ます

(七) 傍線部分(6)「漫然」の意味として、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、予測もできず、思いがけないようす。
- イ、きわめてはっきりしているようす。
- ウ、意志が強く、物事に動じないようす。
- エ、ただ何となく物事をするようす。

(八) 傍線部分(7)「日常生活世界を生きて在る私たちの姿を社会学的に読み解くためのはじめの一步」とあるが、このことをまとめた次の()の中の()に当てはまる言葉を、本文中の言葉を使って、五十五字以上六十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

日常生活世界になんらかの意味を与えている多様な「あたりまえ」の場面のなかにこそ、私たちが日常生活世界を詳細にふりかえって捉え直すきっかけに溢(あふ)れていることに気づき、
使(つか)って場面や光景を理解していく営み自体、はたして「適切で」「気持ちよい」ものだろうか、などを考えてみることに。
、またこの知識を

(次のページへ) ←

中学生のまさるさんは、「読書」について調べたことを学級で発表することになり、次の【発表原稿】、【資料1】、【資料2】を作成した。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

【発表原稿】

みなさん、本を読むのは好きですか。私は本を読むのが好きです。先日、学校の図書館で、担当の先生から、最近、本を読む人の数が減ってきているという話を聞きました。そこで、私は、読書について調べようと思いました。

まず、【資料1】を見てください。「学校読書調査」という、全国の小学生、中学生、高校生の読書状況についての調査によると、二〇一七年五月の1か月に読んだ本の平均冊数は、小学生が十一・一冊、中学生が四・五冊、高校生が一・五冊になっています。また、一冊も本を読まなかった人の割合は、小学生で六パーセント、中学生で十五パーセント、高校生で五十パーセントになっています。小学校、中学校、高校と進むにつれ、

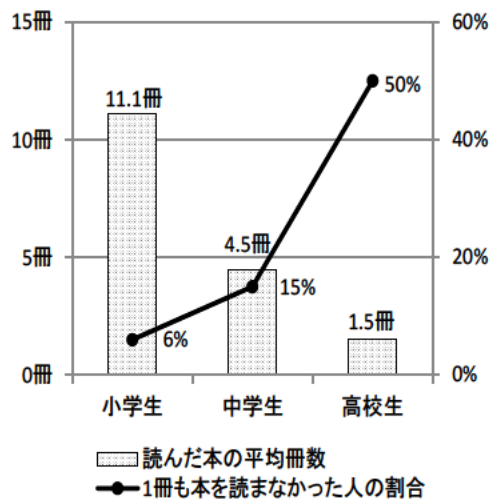
①

次に、【資料2】を見てください。一冊も本を読まなかった理由として、「読みたかったが読めなかった」や「読みたいと思わなかった」が挙げられています。「読みたかったが読めなかった」と答えた人の多くは、その理由を「本を読む時間がなかったから」としています。また、「読みたいと思わなかった」と答えた人の多くは、その理由を「読書よりほかにやりたいことがあるから」としています。現代においては、読書よりも楽しめるものがたくさんあると思います。

最近、電子出版物で本を読む人が増えてきているという調査結果もあります。電子出版物であれば、書店や図書館に行かなくても、すぐに自分の好きな本を読むことができます。そのため、将来は、電子出版物が今よりも多くなるのではないかと考えます。このように、読書の方法も多様化してきているなかで、読書の効果について、もう一度、考え直してみたいと思います。

【資料1】

2017年5月の1か月間に読んだ本の平均冊数と1冊も本を読まなかった人の割合



〔「学校図書館」(全国学校図書館協議会)から作成。〕

【資料2】

1冊も本を読まなかった理由

○「**②**」と答えた理由

・本を読む時間がなかったから

小学生	中学生	高校生
54%	77%	88%

・本が買えなかった, 買ってもらえなかったから

小学生	中学生	高校生
22%	12%	6%

・図書館を利用できなかったから

小学生	中学生	高校生
11%	0%	1%

○「**③**」と答えた理由

・読書よりほかにやりたいことがあるから

小学生	中学生	高校生
60%	60%	70%

・本を読むのがきらいだから

小学生	中学生	高校生
31%	18%	13%

・読まなくても困らないから

小学生	中学生	高校生
9%	17%	17%

〔「学校図書館」(全国学校図書館協議会)から作成。〕

(一) 【発表原稿】の①に当てはまる言葉として、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、一か月間に読んだ本の平均冊数は少なくなる傾向にあり、一冊も本を読まなかった人の割合は高くなる傾向にあります。
イ、一か月間に読んだ本の平均冊数は少なくなる傾向にあり、一冊も本を読まなかった人の割合は低くなる傾向にあります。
ウ、一か月間に読んだ本の平均冊数は多くなる傾向にあり、一冊も本を読まなかった人の割合は高くなる傾向にあります。
エ、一か月間に読んだ本の平均冊数は多くなる傾向にあり、一冊も本を読まなかった人の割合は低くなる傾向にあります。

(二) 【資料2】の中の②、③に当てはまる言葉を、【発表原稿】の中からそれぞれ十三字以内で抜き出して書きなさい。

(三) 【発表原稿】の中に「重複線部分「読書の効果」とあるが、このことについて、あなたの考えを、あとの「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの考えと、その根拠を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの体験や見たり聞いたりしたことを具体的に取り上げて書きなさい。
- ④ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ⑤ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。

— おわり —